

Published since 1971

日工販NEWS

November
2024

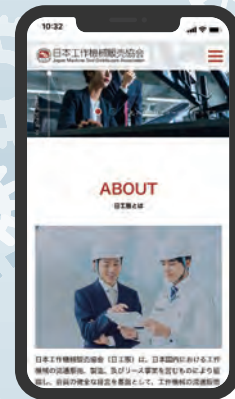
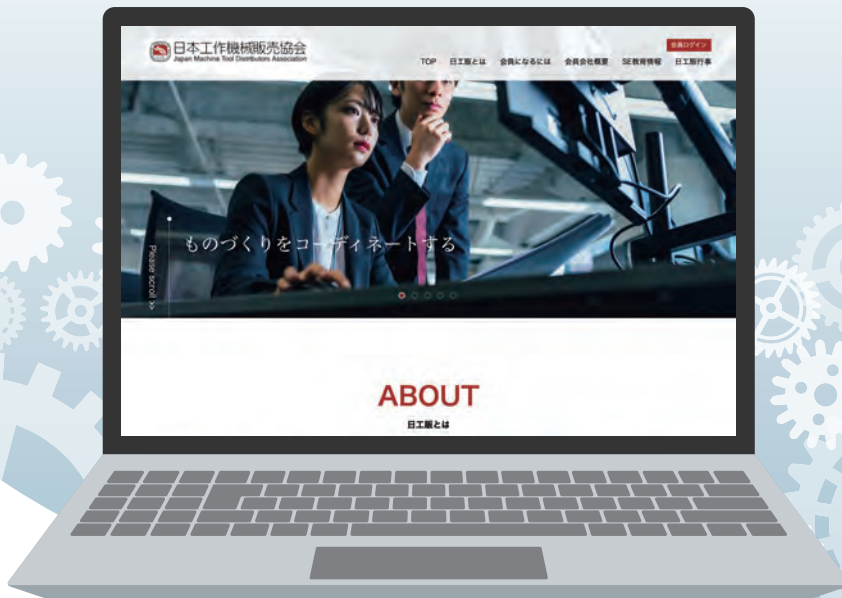
工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

紅葉と空を映す仙人池(新潟県妙高市)



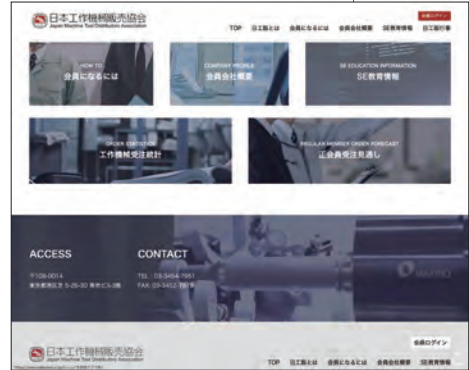
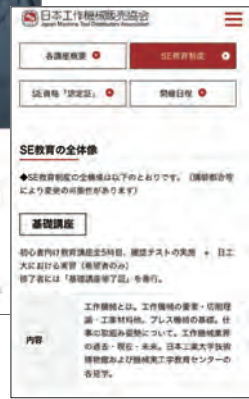
日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

日工販のホームページが **新**しくなりました!



スマホ対応

デザインを一新し、
すっきり見やすく!



知りたい情報に
アクセスしやすい!

<https://www.nikkohan.or.jp>



今すぐ
スマホで
チェック!



「紅葉と空を映す仙人池」
新潟県妙高市

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

- 2 **巻頭言**
「中国進出に思う日本のものづくり」
日本工作機械販売協会 理事 青木 俊一
- 4 **特集 IMTS2024 訪問記**
日本工作機械販売協会 専務理事 中島 和彦
- 7 **分かりやすい話題の技術**
「高精度な加工の自動化を実現するジグ研削盤 J350G」
三井精機工業株式会社 下村 栄司
- 11 **私の好きなお店**
株式会社井高 高田 研至
- 12 **工作機械と私**
株式会社日本精機商会 櫻井 正士
- 13 **感動したスポーツの名場面**
「1%の可能性を信じて」
三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社 宮部 大功
- 14 **私の健康法**
株式会社東京精機工作所 杉原 和典
- 15 **リレー随筆**
株式会社兼松 KGK 兼好 優馬
- 16 **SE 教育**
2024 年度日工販 SE 教育「基礎講座」(第 32 期) 報告
2024 年度日工販 SE 教育「SE 資格取得講座講座」(第 34 期) 報告
日工販 SE 合格者 第 249 回発表
- 21 **お知らせ**
日工販 NEWS 表紙写真の公募について
- 22 **海外だより**
双日マシナリー株式会社 米川 拓真
- 24 **自社紹介**
イワイ機械株式会社 五島 怜
- 26 **統計資料**
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額 (2024 年 9 月)」
- 30 **議事録**
「第 312 回定例理事会議事録」「製品研修会」「東部地区 若手研修会」
「西部地区 懇親ゴルフ会」「西部地区 研修会」

巻頭言

Introduction

中国進出に思う日本のものづくり

私が中国での事業に関わり始めたのは、20数年前のことになります。当時、電機系成型メーカーが長安に工場を進出させたことや、当社が日本国内で販売した機械が何故か中国に渡っていてメーカーに修理依頼があったこと、日本の金型メーカーで働いていた中国人が中古機械を購入して現地で金型を製造しようとしていたことなど、その時代らしい出来事が重なったことがきっかけでした。このような背景から、計画的・積極的とは言えない形ではありましたが、ユーザーやメーカーからの要請に応じ、中国現地においてフォローするための拠点を設立することとなったのです。

当時、大手メーカーは中国進出を加速させていましたが、現地にはまだ彼らの期待に応えられるものづくりの基盤が整っておらず、必要な機械・設備も不足していました。そのため、日本側の仕事と合わせて「中国側もサポートして欲しい」という要望が増え、私自身も「これからは中国だ」と、ある種の洗脳状態にあったような熱い時代でした。

この20年余りで多くの企業が中国に進出しましたが、その選択は果たして正しかったのでしょうか。日本のものづくりを支えているのは中小企業です。しかし、特に中小企業にとっては変化に対応するための、人・機械・場所・資金といった投資が大きな負担となってきます。中国でその継続に苦勞し、収益を確保することが難しくなった企業もあったかと思います。一方で、中国企業は莫大な投資を行い、日本から技術者を大量に採用し、日本と同じ機械を大量に購入して急速に成長を遂げました。テレビ、携帯、パソコン、液晶、白物家電など、我々は中国にもものづくりを教えて巨大なメーカーを生み出し、日本の良いところを持っていかれたとも言えるかと思います。そして現在、ご存じの通り中国から撤退または撤退を考える日本企業が増えています。

一方で、依然として中国に進出する企業も多く存在します。最近、医療関係者と話をした際、なぜ中国とワクチン開発で協力する必要があるのかを尋ねたところ、「日本には必要な材料が無いため、中国の資源は魅力的なのです」という答えが返ってきました。資源の乏しさが日本にとって大きな課題であることを改めて痛感しました。また、アニメやソフトウェアなど、さまざまな分野でビジネスチャンスを見つけて挑戦している企業が沢山あります。但し、その挑戦は日本の独壇場を狙われているというリスクも背中合わせで存在することを頭に置いておかななくてはならないでしょう。

私自身、中国へ出て行ったことが良かったのか悪かったのか、未だに答えを出すことはできませんし、簡単に結論を出せるようなテーマでもないかと思います。中国で挑戦し成功を収めた人もいれば、日本で努力して成果を出した人もいます。それぞれに成功と失敗があり、喜びや苦しみがあったことでしょう。しかし、日本のものづくりの繁栄を支える一員でありたいという思いは、皆さんずっと変わらないのではないのでしょうか。AI技術の発展により、ものづくりが設備産業に変わりつつあるとしても、日本が得意とする利用技術の部分は残り続けると思います。その価値を見極める眼、活かす力を持ち、これからもものづくりに貢献していきたいですね。年齢を重ねた今、どこまで何ができるかわかりませんが、新しい技術も積極的に取り入れながら、できるだけ多くの情報を集め、繋ぎ、ものづくりの仲間を支えて、先人たちが築いてくれた日本独自のものづくりの文化を次世代へ繋いでいきたいと願っています。



日工販 理事 青木 俊一
(米沢工機株式会社
代表取締役社長)

国際委員会の活動の一環として IMTS2024 を訪問しました。

- 1) 会 期：2024年9月9日～14日 6日間
- 2) 会 場：米国シカゴ マコーミックプレイス国際見本市会場
- 3) 主 催：米国製造技術工業協会（AMT）
- 4) 出展社数：1,737社（2022年1,816社、2018年2,563社）
- 5) 来場登録者数：約89,020人（2022年86,307人、2018年129,415人）
- 6) 展示面積：113,948m²（2022年112,673m²、2018年132,315m²）
- 7) テー マ：Inspiring the extraordinary



《概要》

- ① 上記の通り、前回2022年に比し来場登録者数（実際の訪問者数ではない）は若干増にとどまり、コロナ前の2018年の数字には全く届いていない。IMTSが今後どう発展するのか注目したい。尚、会場の感触では、今回は中国からの訪問者が少ない（従い登録者数が伸びない）との声が多く聞かれ実際にアジア系の訪問者はあまり見なかったが、IMTSの公式記録では中国はカナダ・メキシコに次いで第3位の参加者数となっている。



- ② 会場の中心である南館（金属切削加工）には日本メーカー数社が中央入口を占め、圧倒的な存在感を示していた。
- ③ 会場での感触としては、米大統領選及び金利利下げ待ちの様子見で、前回 2022 年では好調と聞いていたジョブショップの元気がないという声が多いが、特に大手工作機械メーカーでは、医療や防衛産業等向けは活発であり、また納期の長い航空機向けなどは既に引合いが活発化しているという声もあった。自動車関係は一般的に低調ではあるが、メキシコにも進出している中国製 EV メーカーに対する米国の対抗策などのからみから米国での製造を行っているメーカーの投資がどうなるか。EV の販売は、価格や充電インフラの立ち遅れなどがあり落ち込んでいる。
- ただ、上述通り、米国は対面産業が自動車以外にも色々あり、AMT も軍需・エネルギー・医療が伸びると考えている。また労働生産性の落ち込みや工場労働者の慢性的人手不足もあり、これらの具体的対策が必要。
- いずれにしても、大統領選が終わり政策方針が固まれば、米国の需要は回復するという声が多く聞かれた。



- ④ AM については、専門家意見でも大きな技術的進展は見られなかったとのことだが、AM 専門雑誌編集長のプレゼンによれば、日く、現在、米国の製造業は約 50%が何らかの形で AM を利用しており、プロトタイプの製作だけでなく、生産や内製ツーリングにも使用しているとのことで、順次浸透しているとの印象。
- ⑤ 日工会のレポートによれば、今回の展示では、EV シフトや省エネをうたう展示よりも、医療部品対応や、航空機部品など多品種少量生産関連が多かった。また労働者不足と入れ替わりの激しい米国事情から、ロボットや画像センサを使った自動補正装置など安定生産への寄与を目的とする自動化システムが見られたとのこと。



分かりやすい話題の技術

No.
195

高精度な加工の自動化を実現するジグ研削盤 J350G



三井精機工業株式会社
精機販売推進室

下村 栄 司

1. はじめに

「ジグ研削盤」は研削盤の中でもマイナーな存在で、世界中を見渡しても生産しているメーカーは多くありません。あまりなじみのない機械を本稿で「分かりやすく」お伝えすることができないかもしれませんが、このような機械が存在することだけでも知っていただければ幸いです。

2. ジグ研削盤は何を加工するのか？

ジグ研削盤は金型や一部の高精度部品の最終仕上げ加工に使われます。ほとんどが金型加工用で、そのうち90%くらいが丸穴の加工です。

意外なところで使われている例を紹介します。

誰でも写真1にある取っ手を引っ張って飲み口を開け、コーヒー、お茶やジュースを飲んだことがあるかと思います。何気なく行っているこの動作、実は非常に精密な金型のおかげで可能になっています。缶は鉄やアルミでできていますが、いくら切れ込みが入っていると言っても人の力で切ることは難しいのです。これを子供の力でも簡単に開けられ、しかも開ける動作以外では開かないようにするための金型は高い難度となります。写真の丸部分が絶妙な曲線と見えにくい山のようになっており、この金型を加工するためにジグ研削盤が活躍しています。



写真1：缶の上蓋とステイオンタブ金型

3. ジグ研削盤って何？

「研削盤」なので、砥石を使用します。大きさは大きいもので直径30mmほど、小さいものになると直径1mm以下になります。高周波モーターやエアタービンの先に砥石を付けて高速で回転させ対象物を研削

します。

砥石の動きはちょっと複雑です。図1を見て下さい。「主軸」には工具またはワークが付くのが普通ですが、ジグ研削盤の場合は主軸の先に砥石切込み機構・高周波モータ・砥石が付きます（図1はこの部分を表します）。

穴を加工する場合、①穴の中心と主軸の中心を一致させます。②砥石の中心は主軸の中心にはありません。③砥石切込み軸（U 軸）を移動させて砥石を穴に接触させます。④主軸を回転させると砥石は主軸を中心として穴の内側を回ります。これを遊星回転と言います。月が地球の周りを回っているようなイメージです。

⑤主軸は回転しながら上下運動もします。これが普通の主軸と違うジグ研削盤独特の動きです。⑥回転＋上下運動を組み合わせると砥石は穴の内側をらせん状の軌跡を描いて移動します。

穴の径を広げるためには砥石の位置を移動させて切り込まなければなりません。⑦砥石切込み軸（U 軸）を移動させて穴を所定の寸法に仕上げます。

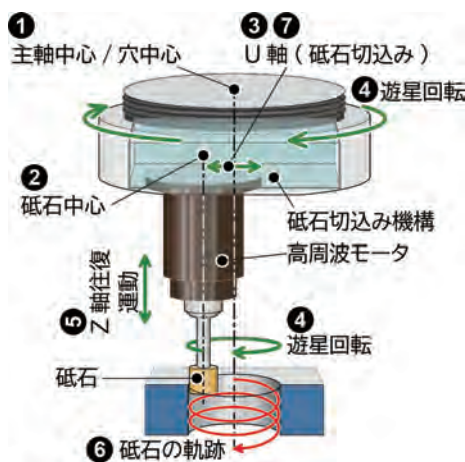


図1・写真2：遊星回転による穴加工

4. J350G ジグ研削盤について

当社の代表的な機種であるJ350Gを例に説明します。

ストロークはX軸500mm、Y軸300mmとシリーズの中で最も小さな機械ですが、加工対象物は小物が多いため、この機種が当社のジグ研削盤全体の9割方を占めています。

X,Y,W 軸はきさげによって真直度、直角度、平面度、平行度などの精度を出しており、これに高精度スケールをプラス（X,Y,Z 軸）することで±0.7 μm という非常に高精度な位置決め精度を保証しています。



写真3：J350G ジグ研削盤

ジグ研削盤の「要（かなめ）」は、先ほども説明した通りヘッドにあります。J350G でこのヘッド構造を従来機から大幅に変更しました。特に砥石切込みストロークは大幅にアップしています。

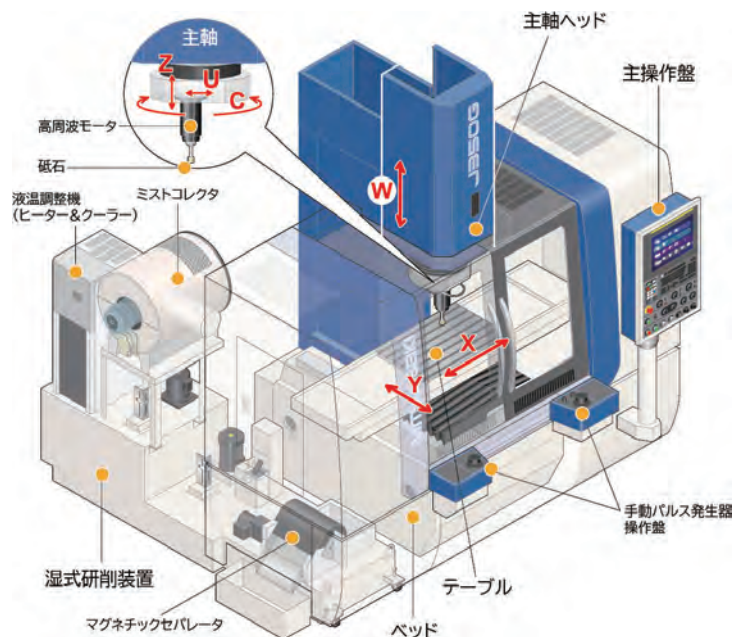


図 2 : J350G の主な構成

5. 砥石切込みストロークの拡張がもたらすメリットとは？

例えば1つの砥石を使用し、遊星回転で穴を加工したい場合、このストローク（U 軸）の移動量が大きければ大きいほど小さい穴から大きな穴まで加工することができます（図3）。J350G はこのストロークが -3mm ~ +50mm となっており、これは海外製も含めたジグ研削盤全体の中で最大のものです（当社調査による）。

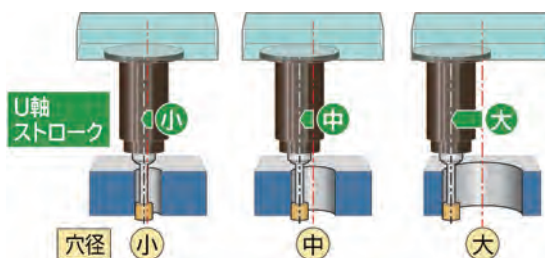


図 3 : 穴径と U 軸ストロークの関係

このメリットは「自動化」です。オプションで用意している砥石自動交換装置（ATC）や自動計測補正装置（インプロセス AMCS）などを付加すれば高度な自動化が可能となります。

ジグ研削盤は NC 機ですが、加工途中で一旦機械を止め穴径を測って、あとどれくらい切り込めば所定の寸法になるかを計算して切込み量を設定し、加工し、また測って加工し・・・ということを繰り返します。仕上げ段階では作業者は機械の前にほぼ付きっきりになります。スキルも必要な高度な作業です。

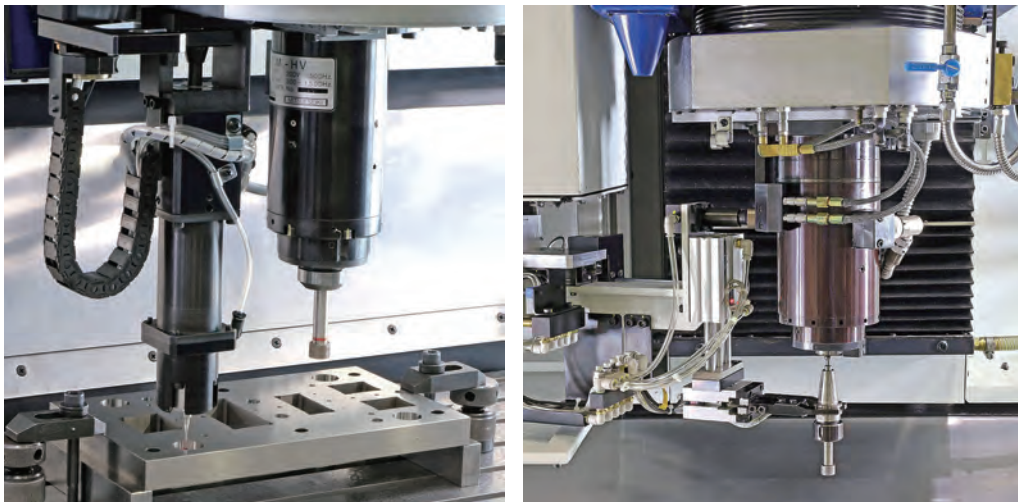


写真 4:自動計測装置（左）と砥石自動交換装置（右）

省人化・無人化は以前から叫ばれていますが、それに加えて技能の伝承が困難になりつつあり、これらの問題を解決するには高精度な自動化を実現することが必須です。J350G ジグ研削盤はその課題を解決できるひとつの選択肢です。

私の好きなお店

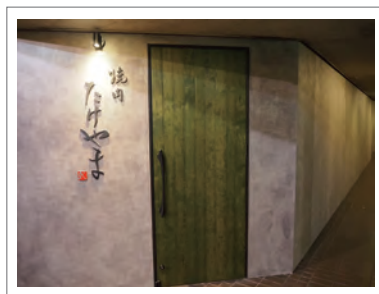


株式会社井高
取締役社長

高田 研 至

名古屋市中区栄にある「焼肉たけやま」というお店を紹介させていただきます。

このお店は元プロ野球選手がオーナーを務める焼肉店ですが、プロ野球選手がとりあえず開店したお店だと思い、最初は期待せず訪問しました。しかし、食に拘るオーナーが入団当時から通っていた横浜にある焼肉店の店主から直々に指導を受け本格的に取り組んだ事が最初から分かりました。オーナーも平日夜は毎日お店で調理も接客もします。毎日忙しそうですが、プロ野球シーズン中は我々にプチ解説もしてくれます。まだオープンして1年ちょっとですが、オーナー自ら新メニューの考案を試行錯誤しながら提供してくれます。

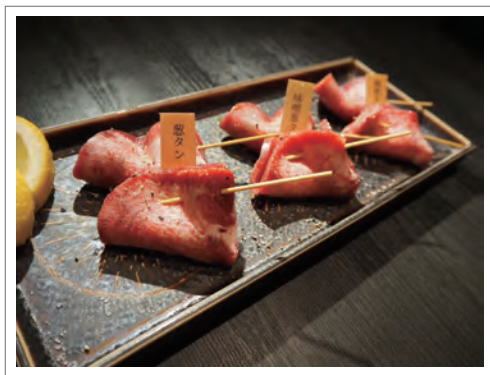


外観

私のおすすめは、「葱タン3種、レバー、ザブトン、シャトーブリアン（お財布に余裕がある時限定）、そしてメは炊込み牛飯か肉寿司、デザートも外せない杏仁豆腐（これもオーナーが1か月以上研究して完成させた絶品）」といったところを必ず注文します。

そしてもう一つのおすすめが薬味のヤンニンジャンです。お肉に付けるもよし、そのままつまむもよしの絶品です。お店の雰囲気も全席個室でシックな大人の雰囲気です。場所がプリンセスガーデンホテルの地下ですので接待にも便利です。

ちなみにオーナーは横浜～西武～中日でキャッチャーとして活躍され、引退後もバッテリーコーチを務めていただけの事はあり人望もあるので、運が良ければOB、現役選手にも会えるかも・・・



葱タン3種盛り



シャトーブリアン



焼肉たけやま

愛知県名古屋市中区栄3丁目13-31
TEL:052-228-9061
HP:<https://yakunikutakeyama.com/>

“

工作機械と私

”



株式会社日本精機商会
東京支店 営業課
櫻井正士

株式会社日本精機商会の櫻井と申します。

工作機械商社の営業は今年で10年となり、時間の流れの速さに驚いております。

入社当時は、全く別の業界からの転職だった為、右も左も分からない状態で、ご指導いただいた上長にはそれは煩わしい思いをさせていたいただろうと思ひ返します。特に業界の用語を理解していくのがとても大変で、まず会話についていけない。これが辛かったです。経験値があればもっと楽に仕事をこなせるだろうな。こんなことを思っておりました。しかし、上長から「製品知識だけあれば売れるなら、メーカーの人間はみんな独立している」こんなことを言われました。当たり前かもしれませんが当時の私には衝撃でした。それから苦戦の連続です。商社とメーカーの違いとは？ある時こんな問いを受けました。商社で営業マンをやっている以上は基本になるような問いに答えが出せませんでした。その時に指導して下さった方から、メーカーは自社製品を売り、商社は自分を売る。こんな教えを受けました。言っていることは理解できるのですが、これが自分自身に落とし込めず、自分を売りこんでいくことの大変さを今もなお感じています。

さて、工作機械と私というテーマについて、機械と言うよりも営業談のようになってしまうかもしれませんが、私が今回の寄稿依頼を受けた際に真先に思い出したエピソードがありますので紹介させていただきます。

この業界での営業経験を3～4年積んだ頃、あるお客様より日々の生産効率UPをする為の相談がありました。簡単に言ってしまうと、数量は無いがバリ取りに手間がかかり困っている。こんな内容でした。お客様自身、この問題は自動化化しかないという頭があり、ロボットを設備する方向へ向かいました。しかし、話を聞けば聞くほど費用が高みそうで、掛かる費用を聞き、お客様の設備意欲は減速しました。何とか問題解決できる方法は無いかと色々な人に助言を求め、展示会で情報収集もして辿り着いたのが小型のバレル研磨機でした。試加工の結果は良好で無事に購入いただき、お客様の問題も解決です。投資額が大幅に減り問題を解決できたので、とても感謝されました。営業マンとしては1,000万をオーバーする商談が、数10万の商談になってしまい残念がるべきなのかもしれませんが、この時に頂いた「本当に助かったよ。」という言葉が本当に嬉しかったのを覚えています。

こういった、お客様の問題解決へ真剣に取り組む動きが自分を売るという事の一環なのだと、一つの答えを見つけたエピソードでした。

昨今は、環境や省人化、省力化、高精度化、と問題が複雑になってきており、ただ設備を入れ替えるといった単純な話は無くなりつつあるように感じています。多様化するニーズに対応して業界で生きていく為に、広く深い工作機械という製品の知識や、お客様への思い、我々商社の存在意義、これらをもっと深く追求して、会社、業界へ貢献していきたいと思っております。

感動した スポーツの **名場面**



「1%の可能性を信じて」



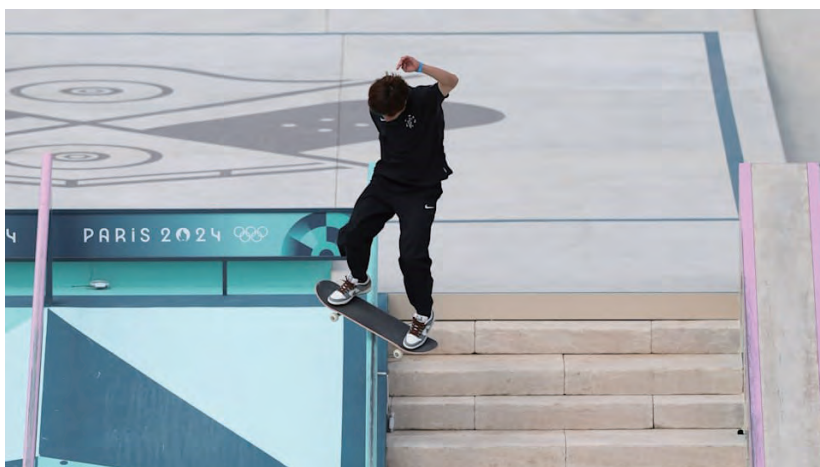
三菱電機フィナンシャル
ソリューションズ株式会社
東京支店 第二営業部
第一営業課

宮部 大功

パリオリンピックスケートボードの男子ストリートで、堀米雄斗選手が2大会連続となる金メダルを獲得し競技終了後のインタビューで、1%の可能性を最後まで信じてやったとコメントを残しました。

私は日本で開催されてから XGames（スケートボード、BMX、MotoX などのアクションスポーツ競技の祭典）を見に行く程スケートボードに興味があり、東京オリンピックで新種目としてスケートボードの開催が決定した瞬間一人で興奮していたのを今でも覚えています。今年のパリオリンピックはもちろんのこと、深夜帯にもかかわらず釘付けになって観戦していました。特に堀米選手は同郷ということもあり、家族総出で応援していました。

堀米選手はオリンピック出場の切符をかけて戦う予選シリーズではオリンピックに行けるかどうか分からない状況の中、ギリギリでのオリンピック出場の切符を掴み取りました。オリンピック本番では決勝まで進んだものの、中々思い通りの演技ができず1回目の演技のあと3回続けて失敗してしまいました。この時点で4位とメダルにも届かない順位となり最後の5回目、最高難易度の演技を見事に成功させ今大会最高得点を叩きだし逆転で2大会連続の金メダルを獲得しました。コーチが涙を流しながら堀米選手を肩車している場面がとても印象的でした。



1%の可能性を最後まで信じぬく大切さを改めて感じ、これからは堀米選手の言葉を思い出しながら諦めずに1%の可能性を最後まで信じて日々の営業活動に励んでいこうと思います。



私の 健康法



株式会社東京精機工作所
営業部 総統括補佐

杉原和典

株式会社東京精機工作所営業部の杉原と申します。さて健康の為に何かしているだろうかと考えたいへん困りました。さしあたり学生のころから続けている山登りにつきまして書かせて頂きます。このコーナーの趣旨からして健康を考え登山を続けていますと始めたいところなのですが、実際には登山を続ける為に健康に気を使っている感じです。登山の為に本気でトレーニングするならジム通い等計画的に取り組むべきかと思うのですがそのような甲斐性がない自分は適当な運動でカバーしています。

1. ひたすら歩くこと。歩くことは健康にはすごくいいと思うのですが、ただ山登りに対してはあまり効果はないようです。
2. 筋トレ。毎日朝10分（だけ）程度やっています。絶対量が少ないのではたしてどれだけ効果があるのか疑問ですが、スクワットだけは多めにやっています。このスクワットは登山の為にトレーニングとしてはすごく効果があるようです。

山に行くと山の上で宿泊しますが、私は若いころからの習慣で山小屋に泊まったことがほとんどありません。いつもテント、シュラフを携帯し、テント泊を繰り返しています。登山用品も進化し担ぐ総重量も学生のころと比較すると10kg以上軽くなりました。ただそれでも若いころと比べて体力も落ち登山の質・量（1回の登山に日数や行動総距離など）ともいづいぶん低く少なくなりました。

そんな私ですが数年前にたいへん動揺することがありました。北アルプスの白馬岳の大雪山秋コースを下山で歩いている時、すべて手のひらを切ってしまいました。小さなキズでしたが、血を止めることができず困りました。看護師の方に止血剤入り絆創膏が頂き難を逃れました。

下山後結局3針縫いました。これは自分にとって山での最初の怪我だと思えます。でも同じこの日にそれよりももっと動揺することが起きました。

下山の際前方に転倒しその後横に転がり危うく登山道から転落するところでした。岩場での滑落を除くとこの「下山で前方に転倒⇒登山道から転落」は最も典型的な山の事故だと思えます。ここは岩場ではないし仮に登山道から落ちたにしても（たぶん）大けがはしなかったと思えます。でも以後山の下りが少し怖くなり、なんだか山に行かないことが一番の健康にいいのではないかと思ったりしました。

歳を重ねると体力が衰えますが、筋力や持続力と比較してもバランス力（さらには瞬発力）の衰えは大きいようです。登山における下りは足場が不安定でバランス取り運動の連続となります。歳をとるに従い登山は山を登る運動から山を下る運動が主体に変わるようです。ただ登山という運動のほかの運動になかなか無い特異性はこの下り効能があることも言えそうです。以後、バランス力を維持・向上させるトレーニングを追加しました。

そんなこんなで健康に気を使う日々が続いています。これからも健康の為、無理の無い登山を続けて行きたいと思えます。

リレー随筆



株式会社兼松KGK
中部営業本部
中部営業部 浜松営業所
兼好優馬



皆様、はじめまして。株式会社兼松KGK 中部営業本部 中部営業部 浜松営業所に所属しております兼好 優馬と申します。この度、ヤマザキマザックトレーディング株式会社の奈須様より伝統ある【リレー随筆】のバトンをお受けし、大変嬉しく思います。せっかくの機会ですので、簡単な自己紹介と私の趣味についてお話しさせていただければと思います。

はじめに、苗字について少し触れさせていただきますが、よく『もしかして、兼松のご子息ですか?』と聞かれることがあります。恥ずかしながら、実際はただの似た苗字でして、特に縁もございません。(笑)

さて話はおどろきまして、私は広島県出身で、18歳までは「日本三大酒どころ」の一つ西条の隣町にある高屋という小さな町で育ちました。中学から大学まで駅伝部に所属し、大学では関東の大学に進学し、箱根駅伝出場を目指して日々練習に励んでいました。決して楽な日々ではありませんでしたが、仲間と競い合い、支え合いながら1秒でも速く走ろうと努力した経験は、今の営業活動にも活かされていると感じています。

当社への入社を決めた理由は、私たちの日常生活を支える「ものづくり」の業界に強く惹かれたからです。TV やスマホ、家具、家電、さらには航空機など、世の中には私たちの生活を支える製品が溢れています。これらを支える製造業の仕事は、

まるで「縁の下の力持ち」のように感じられ、その一端に携われることに誇りを感じています。商社として多くの企業様と協力しながら「ものづくり」を支える日々は、まさにやりがいそのものです。

続いて、ここ数年で始めた趣味についても少しご紹介させていただきます。最近、「生涯楽しめる趣味」を見つけたいと思い、ゴルフとキャンプに挑戦しています。ゴルフは、最初はお付き合いで始めたのですが、今ではすっかり魅力にハマリ、休日には友人や同僚とコースに出かける機会が増えました。年齢を重ねても続けられるスポーツであり、プレースタイルや目標が変化していくのも面白さのひとつです。ちなみに現在のベストスコアは87のため、今年度中には大きく更新したく練習に励んでおります。

もう一つの趣味、キャンプも自然の中でのんびりと過ごせるのが最高です。最近、念願だったNordiskのAsgardというテントを手に入れました。コットン製のため少し手入れは大変ですが、使い込むほどに味わいが増し、こだわりのギアに囲まれて過ごすひとは格別です。電波の届かない自然の中で、何も考えず過ごす時間は、心身のリフレッシュに最適です。ぜひ、おすすめのギアがありましたらご紹介いただくと嬉しいです。

▶ 次号は黒田精工株式会社の又 健太様です。「マタケン」の愛称でよばれる、愛されキャラの笑顔の素敵な頼れる営業マンです。

2024年度日工販SE教育「基礎講座」(第32期) 報告

2024年度基礎講座を6月の1カ月間で開講いたしました。

配信ビデオ視聴形式での座学講義（全受講者必須）と、希望者には日本工業大学工業技術博物館における実習（実習日は13日（木）・20日（木））を取り入れて実施いたしました。

- 座学開講期間：2024年6月2日（日）～29日（日）
 - 実習開講期間：2024年6月13日（木）or 20日（木）
- ※いずれかに参加



日工大工業技術博物館

受講者総数157名は過去最高となり、昨年の149名を大きく上回りました。

実習において、館内に動態設置されている工作機械のご説明をご担当くださいました、工業技術博物館の館長を始めとした講師陣の皆様、また日本工業大学実習施設内での工作実演をご担当くださいました講師陣の皆様には心より御礼申し上げます。



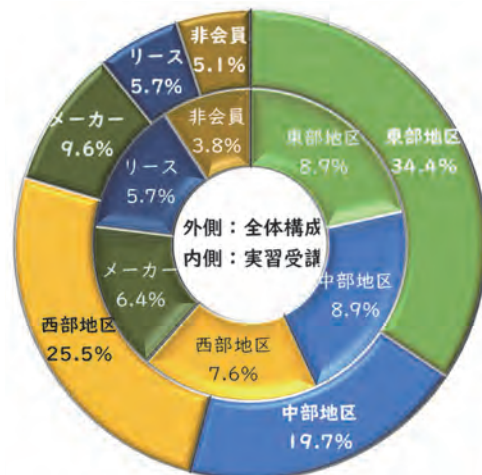
実習オリエンテーション



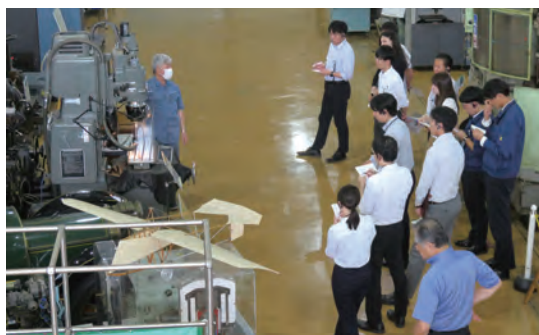
日工大工業技術博物館
館長によるご説明

(単位：人)

	会員区別 全体申込数	全体申込の内、 実習を併せて 受講する者
東部地区	54	14
中部地区	31	14
西部地区	40	12
メーカー	15	10
リース	9	9
非会員	8	6
計	157	65



工業技術博物館内実習の様子



日工大機械実工学教育センター工作実演



2024年度日工販SE教育「SE資格取得講座」(第34期) 報告

2024年度 SE 資格取得講座は10月1日(火)～31日(木)の1カ月間で開講いたしました。
 昨年に引き続き、配信ビデオ視聴形式と集合対面形式のいずれかを選択し受講するという方式でした。

- 配信ビデオ視聴による受講期間：2024年10月1日(火) 正午～31日(木) 正午
- 集合形式による対面受講期間：2024年10月23日(水)～25日(金)

受講者総数は145名となり、これも過去2番目となる多数の受講者数となりました。

配信ビデオ視聴形式を導入して5年目、通常業務を持ちながら受講時間を受講者自身で見つけながら学習していくことは相応の困難を伴うものですが、受講参加各社の教育責任者の受講マネジメントのおかげをもちまして、参加全企業とも受講期間内に修了いたしました。

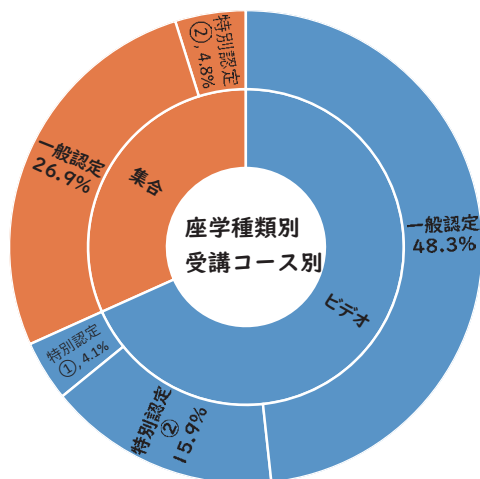
集合対面形式で利用した研修会場スタッフを含め、各講座のご担当講師の皆様を始めとした関係各位のご協力を厚く御礼申し上げます。



集合研修の様子

(単位：人)

正会員	東部	34
	中部	43
	西部	34
		111
賛助会員	メーカー	10
	リース	10
		20
非会員	非会員	14
		14
	合計	145



日工販SE合格者 第249回発表

2024年8月～11月の合格者は85名です。

2024年8月 合格者数：11名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4022	(株)小林機械	小林 竜輝
24-33-4023	(株)東陽	鈴木 めぐみ
24-33-4024	(株)東陽	市原 知幸
24-33-4025	(株)東陽	三輪 龍司
24-33-4026	(株)東陽	前田 晃佑
24-33-4027	ワシノ商事(株)	横井 政尚
24-33-4028	(株)井高	浅井 貴一
24-33-4029	(株)ジーネット	大村 優介
24-33-4030	三菱 HC キャピタル(株)	松本 龍馬
24-33-4031	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)	小林 寛行
24-33-4032	(株)モリタ	西田 徹

2024年9月 合格者数：10名

認定No.	会社名	合格者名
24-32-4033	(株)兼松 KGK	高橋 洸貴
24-33-4034	(株)国興	中村 昌幸
24-33-4035	(株)国興	雨宮 伸之
24-33-4036	(株)東陽	奥野 傑
24-33-4037	(株)東陽	加藤 大輔
24-33-4038	三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)	佐野 晃平
24-33-4039	宮脇機械プラント(株)	飯塚 裕也
24-33-4040	芝浦機械(株)	尼崎 明弘
24-33-4041	三菱電機(株)	関根 響
24-33-4042	三菱電機(株)	三河 祐規

2024年10月 合格者数：15名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4043	(株)東陽	森永 匠
24-33-4044	(株)東陽	北山 功一郎
24-33-4045	(株)東陽	濱 隆雄
24-33-4046	(株)井高	黒崎 睦士
24-33-4047	三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)	山田 聖也
24-33-4048	三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)	飯田 研
24-33-4049	芝浦機械(株)	木川 真也
24-33-4050	三菱電機(株)	柳田 涼太
24-33-4051	三菱電機(株)	伊藤 宏成
24-33-4052	三菱電機(株)	成定 雅司
24-33-4053	三菱電機(株)	中谷 吉孝
24-33-4054	三菱電機(株)	横井 大地
24-33-4055	三菱電機(株)	津村 優希
24-33-4056	(株)カシフジ	遠藤 駿
24-33-4057	原口機工(株)	安田 直起

2024年11月 合格者数：49名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4058	伊藤忠マシンテクノス(株)	菊田 千香子
24-33-4059	伊藤忠マシンテクノス(株)	鈴木 陽介
24-33-4060	(株)兼松 KGK	舩山 徹也
24-33-4061	(株)兼松 KGK	緒方 秀俊
24-33-4062	三井物産マシンテック(株)	小木 裕二
24-33-4063	三井物産マシンテック(株)	苗 樹
24-33-4064	三菱商事テクノス(株)	待谷 祥太郎
24-33-4065	三菱商事テクノス(株)	高山 滉将
24-33-4066	三菱商事テクノス(株)	水越 匡海
24-33-4067	ユアサ商事(株)	前川 裕紀
24-33-4068	ユアサ商事(株) 横浜支店	大畑 将徹
24-33-4069	サンワ産業(株)	川邊 峻
24-33-4070	三栄商事(株)	上西 哲平
24-33-4071	(株)東陽	坂野 仁志
24-33-4072	(株)東陽	的野 崇浩
24-33-4073	(株)東陽	石川 徹
24-33-4074	(株)東陽	都築 祐太郎
24-33-4075	(株)東陽	長縄 祐司
24-33-4076	山下機械(株)	小出 卓司
24-33-4077	三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)	山澤 亮太
24-33-4078	三菱電機メカトロニクステクノロジーズ(株)	長谷川 政史
24-33-4079	(株)山善	川口 詩音
24-33-4080	(株)山善	嶋田 将人
24-33-4081	(株)山善	田中 心
24-33-4082	(株)山善	本美 香林
24-33-4083	(株)ジーネット	呉 洸樹
24-33-4084	(株)ジーネット	酒井 太希
24-33-4085	マザックニシカワ(株)	清水 俊博
24-33-4086	大幸産業(株)	繁中 大地
24-33-4087	大幸産業(株)	木坂 晃充
24-33-4088	大幸産業(株)	大森 裕太
24-33-4089	オークマ(株)	山本 佳正
24-33-4090	オークマ(株)	松本 宏晃
24-33-4091	三菱電機(株)	岡田 裕希
24-33-4092	三菱電機(株)	菊地 秀明
24-33-4093	三菱電機(株)	高武 愛里
24-33-4094	三菱電機(株)	森枝 彩香
24-33-4095	三菱電機(株)	萩原 文博
24-33-4096	三宝精機工業(株)	浜野 耕平
24-33-4097	三菱 HC キャピタル(株)	西本 滋行
24-33-4098	三菱 HC キャピタル(株)	小川 将史
24-33-4099	岩谷産業(株)	北川 皓大
24-33-4100	昭栄産業(株)	村越 亨
24-33-4101	(株)山久	中尾 卓矢
24-33-4102	(株)山久	沢田 直規
24-33-4103	(株)ウエノ	原田 将幸
24-33-4104	(株)ウエノ	廣田 佑輝
24-33-4105	(株)ウエノ	田中 健太郎
24-33-4106	(株)ウエノ	竹本 陸人

日工販 NEWS 表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

日工販 NEWS を楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

募集要領

1. 対象写真

年 5 回の発刊月（5 月、7 月、11 月、1 月、2 月）に合わせた写真（1 枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわりません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付： jmta@nikkohan.or.jp

メール件名： 「《日工販 NEWS》表紙写真（応募）」

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USB や CD 等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。

- ・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」
- ・「掲載希望発刊月」
- ・「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」



3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販 NEWS」および御礼として QUO カードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以って代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。



海外 だより

「成長を続けるインド市場に 貢献したい」

双日マシナリー株式会社
米川 拓真



From India

双日マシナリー株式会社の米川と申します。この度は「海外だより」の寄稿の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。私は2024年4月よりニューデリーの双日インド会社に赴任をしており、インドでの機械関連の商売に携わっております。

私の駐在地であるニューデリーはインド北部に位置し、近郊都市を含めたデリーの人口は6,500万人を超える大都市となります。デリー（近郊都市も含む）に進出する日本企業も近年増加しており、それに伴い日本人の人口も5,000人以上と増加傾向にあります。そのため、私の住んでいるグルグラム（旧グルガオン）では、日本食レストランや日本人向け施設などが充実しており、赴任前に想像していたよりもはるかに日本人にとっては生活しやすい環境となっております。日本人会も充実しており、休日にはフットサルやバレーボール等の活動へ参加し汗を流しております。またデリー近郊には多くのゴルフコースがあり、中には世界遺産に隣接するコースもあり、雄大な景色を楽しみながら回っております。一方、オフィス街の中心に牛の群れがいたり、道路では車線お構いなしに車が行きかっていたりと、随所にインドらしさを感じる場面も健在です。また、妻子を伴って駐在しておりますが、道行く人に幼い娘をかわいがってもらったり、スーパーでお菓子をおまけしてもらうほか、レストランでは子どもを抱っこして面倒を見てもらえたりと、インドの人の温かさを感じる場面も多く、意外と子育てはしやすいと思います。

フットサル
(筆者一番右)



インドでのゴルフ
(筆者右から2番目)





インドは2023年に人口が14億2,860万人に達し、中国を抜き世界第一位となりました。今後も人口が増え続ける見込みで、若者の比率も多く街には活気が溢れております。そんな勢いのあるインドにおいて、今後は人口増加に伴い自動車販売や、医療関係、生活産業といった分野での需要が拡大すると思われます。また、特にデリーは大気汚染がひどく、カーボンニュートラル化等の対策も課題になります。私の所属する双日インド会社機械部では、自動車製造関連設備、医療関係、インフラ、生活産業等の分野の設備を扱っており、上記のような問題に対して有効な提案をできるようにチームメンバー同乗奔西走しております。並びに、インドでは Make in India というスローガンのもと、自国での製造業を促進する動きがあり、日本企業にも劣らない優良企業が増えつつあります。そのような企業と日本の技術を組み合わせることで、新たなビジネスチャンスが生まれるのではと考えております。

機械商社としてインドの発展に貢献できるようなビジネスモデルの構築を行っていくことが私のインドにおけるミッションだと感じております。これからどんどん発展を続けるインド市場に置いて行かれないよう、日々勉強しながら業務に邁進していく所存です。

双日インド会社
駐在員とその家族
(筆者中心の白Tシャツ)



家族での
タージマハル旅行



自社
紹介

我が社の履歴書



フリガナ	イワイキカイカブシキガイシャ
社名	イワイ機械株式会社

本社所在地	設立	資本金	代表者
〒362-0015 埼玉県上尾市緑丘 2-7-19	1991年4月	4,100万円	代表取締役 祝原 英俊

弊社は1991年4月の創業以来、工作機械専門商社として歩んでまいりました。

「お客様に貢献」「取引先に貢献」「社員に貢献」「社会に貢献」の4つをミッションとして掲げ、お客様のみならずメーカー様をはじめ、工作機械業界全体に貢献できるよう日々研鑽を積み重ねております。

その中でも特に機械知識の習得に力を入れており、週1回、専門知識習得のために機械メーカー様に来社いただき、勉強会を開催しております。

スピード感を持ってスムーズな提案を行うには、知識が必要不可欠です。

専門知識の習得、最新情報収集の場として、今後も継続していきたいと考えております。

また、営業活動を行う上では専門知識以外にも人間性を育むことが必要不可欠であると考え、自己啓発の勉強会も定期的を開催しております。

毎度テーマを変えて、読本の読み合わせを社員同士で行い、感想を述べ合うことで自分にはない考えや気づきを得ることを目的にしています。

読み合わせの際は、相手の感想や意見を決して批判してはいけません。

相手を受け入れ、さまざまな考え方に触れることでより良い人間性を育むことにつながると考えております。



メーカー様による勉強会の様子



感想の読み合わせの様子

また最近では、営業効率を上げるために営業ツールの見直しや、外部コンサルタントを招いて営業手法の見直しも図っております。

変化の著しい昨今の市場に対応するには、従来のやり方からの脱皮を図るほかありません。

IoT を用いた営業ツールの導入による営業実績の見える化、行動計画と結果のチェックと改善、データ化など、思うように進んではいませんが PDCA サイクルを回して精度を上げていきたいと考えております。

ここまでは社員教育にフォーカスした内容でしたが、世の中の変化に合わせて会社も変化していかなければと考え、改めて開始した取組みがあります。

会社の成長と社員の成長は密接に関係していると思いますが、社員が成長するためには教育だけでなく、顧客に対するのと同様に会社との信頼関係も必要だと考えます。

当然のことながら、会社は従業員ひとりひとりが集まって出来上がっています。

お互いが信頼し、協力し、より良い会社になるように想いを集結させることが「やる気」につながり原動力となると思います。



そこで、改めての試みとして社員からの改善提案を奨励する制度を設けました。

賛否両論ありそうですが、積極的にアイデアを出してもらえるよう、改善案が採用された際は報酬を支払うこととしました。

これまでは提案や重要事項の決定は幹部陣が担っていましたが、一般社員からの改善提案を奨励し、多くのアイデアを結集して会社を発展していけたらと考えています。

試みを始めて数週間ですが、すでに何名かから改善提案を受けており、この先も多くの改善のアイデアを提示してくれることを期待しています。

当社の直近の受注状況は思うような結果が出ず厳しい状況が続いていますが、社員一同、力を結集して現状を打破したいと思います。



イワイ機械株式会社
営業2課 課長

五 島 怜



統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位) 百万円

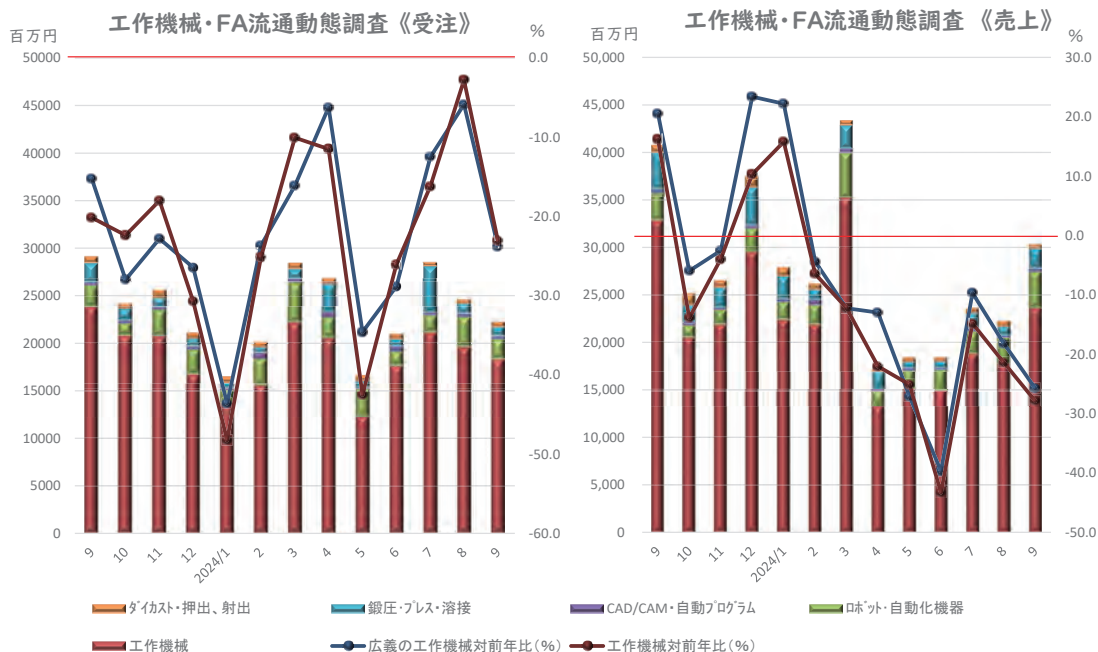
37社合計		受 注					売 上				
調査月次		2024/09	前月比	前年比	2024/01 ~2024/09	前年度比	2024/09	前月比	前年比	2024/01 ~2024/09	前年度比
広義の 工作機械	工作機械	18,317	-6.6%	-23.1%	160,898	-23.2%	23,694	33.0%	-27.9%	183,513	-18.2%
	ロボット・自動化機器	2,099	-32.2%	-7.2%	21,878	0.5%	3,756	39.1%	29.4%	23,097	13.7%
	CAD/CAM・自動プログラム	281	-17.6%	-4.3%	3,350	34.2%	333	23.9%	3.1%	2,842	11.5%
	鍛圧・プレス・溶接	977	-14.8%	-51.6%	13,552	-31.8%	2,093	121.7%	-45.9%	13,715	-1.7%
	ダイカスト・押出・射出	520	22.6%	-29.5%	5,019	-30.3%	430	-30.3%	-50.3%	4,737	-44.1%
	小計	22,193	-9.8%	-23.8%	204,698	-21.5%	30,307	35.6%	-25.8%	227,904	-15.5%
工作機械以外の扱ひ商品		30,613	9.6%	13.2%	288,855	14.1%	32,885	16.7%	1.2%	281,382	1.6%
合計		52,806	0.5%	-6.0%	493,552	-4.0%	63,192	25.0%	-13.8%	509,287	-6.8%
従業員数		1,620	-0.4%	1.3%							

統計2

単位) 百万円

28社合計		受 注					売 上				
調査月次		2024/09	前月比	前年比	2024/01 ~2024/09	前年度比	2024/09	前月比	前年比	2024/01 ~2024/09	前年度比
内 訳	直販	21,031	-15.2%	-4.3%	222,704	5.0%	29,236	47.4%	-2.7%	221,729	3.8%
	(内リース)	778	22.9%	18.4%	5,855	0.4%	1,019	78.5%	-20.0%	6,586	-17.0%
	卸	6,787	-8.9%	-19.0%	59,090	-17.0%	9,421	30.8%	-23.1%	63,216	-19.6%
	輸入	5,272	144.9%	19.9%	27,415	-6.9%	3,191	60.4%	40.5%	24,048	-2.3%
	輸出	9,617	13.2%	-24.7%	105,525	-10.6%	10,699	-7.9%	-35.7%	106,798	-26.5%
	(内間接輸出)	946	-18.6%	4.7%	15,234	48.6%	1,291	15.8%	-37.3%	14,431	-0.4%
従業員数		1,148	0.0%	2.3%							

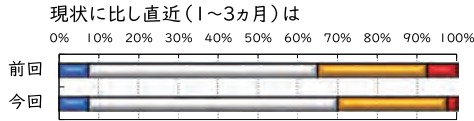
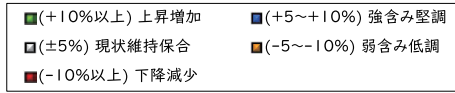
注: 会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。



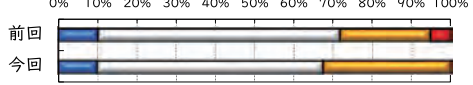
工作機械・FA流通動態調査2

今回2024年10月調査／前回2024年7月調査対比

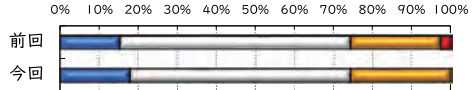
1. 工作機械全体見通し



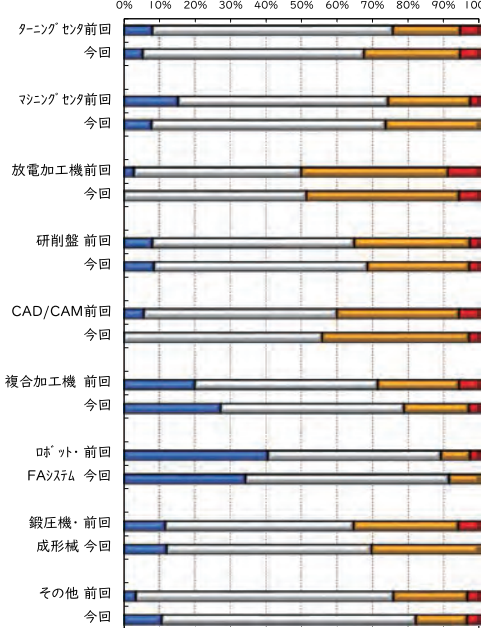
過去半年に比し向後の半年は



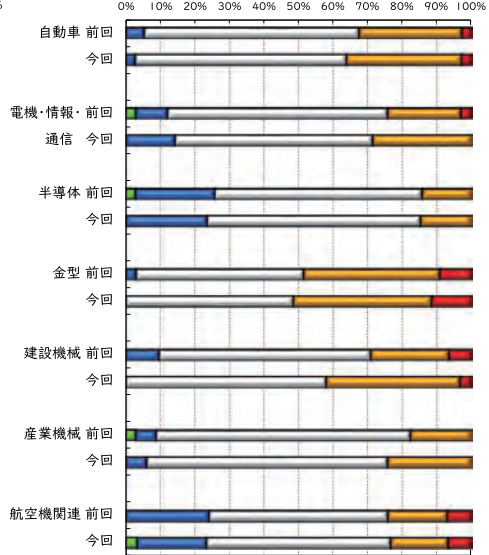
過去1年に比し向後の1年は



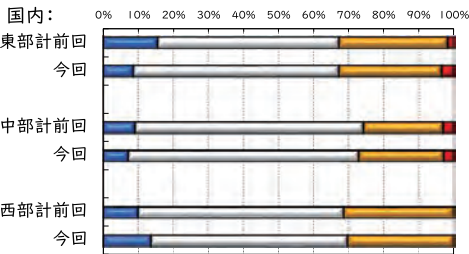
2. 製品別向後約半年の見通し



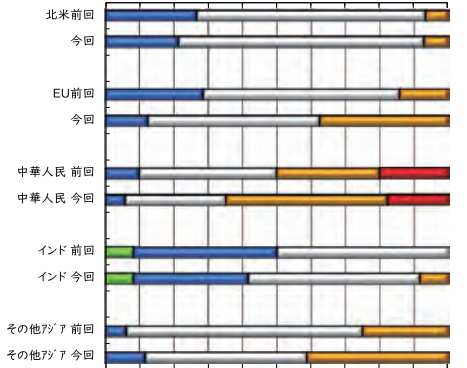
3. 市場別向後約半年の見通し



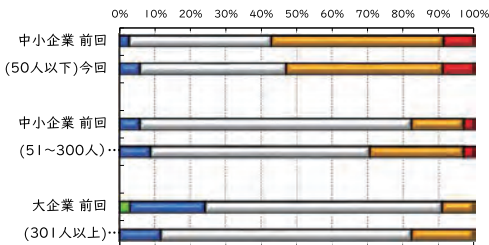
4. 地域別向後約半年の見通し



海外:



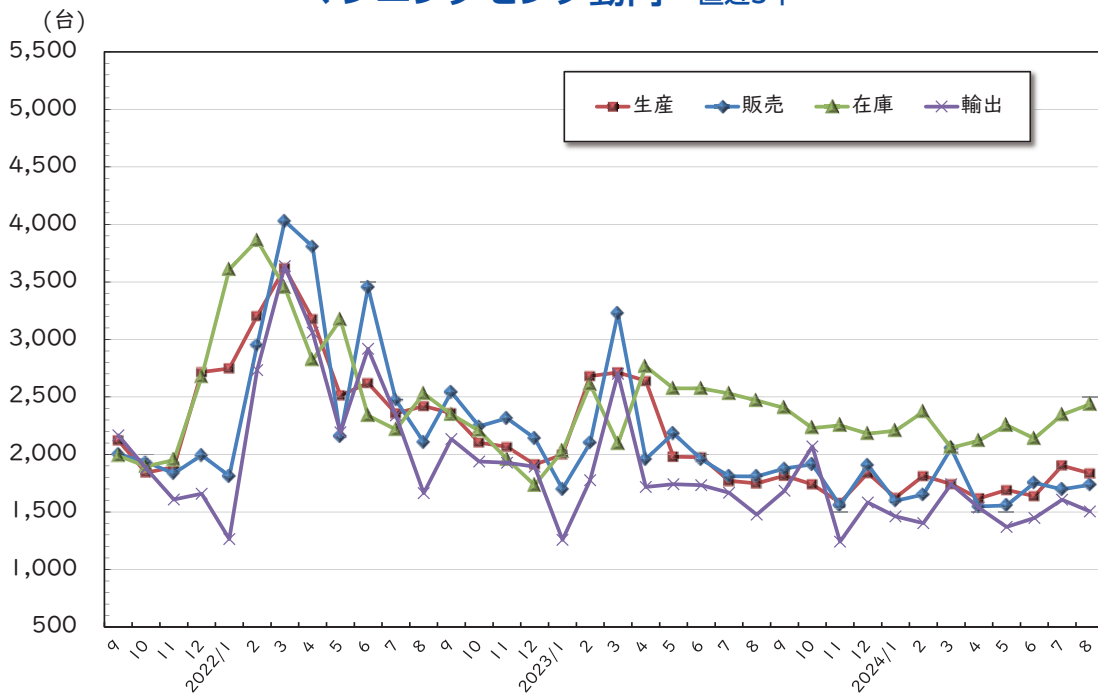
5. ユーザー規模別向後約半年の見通し



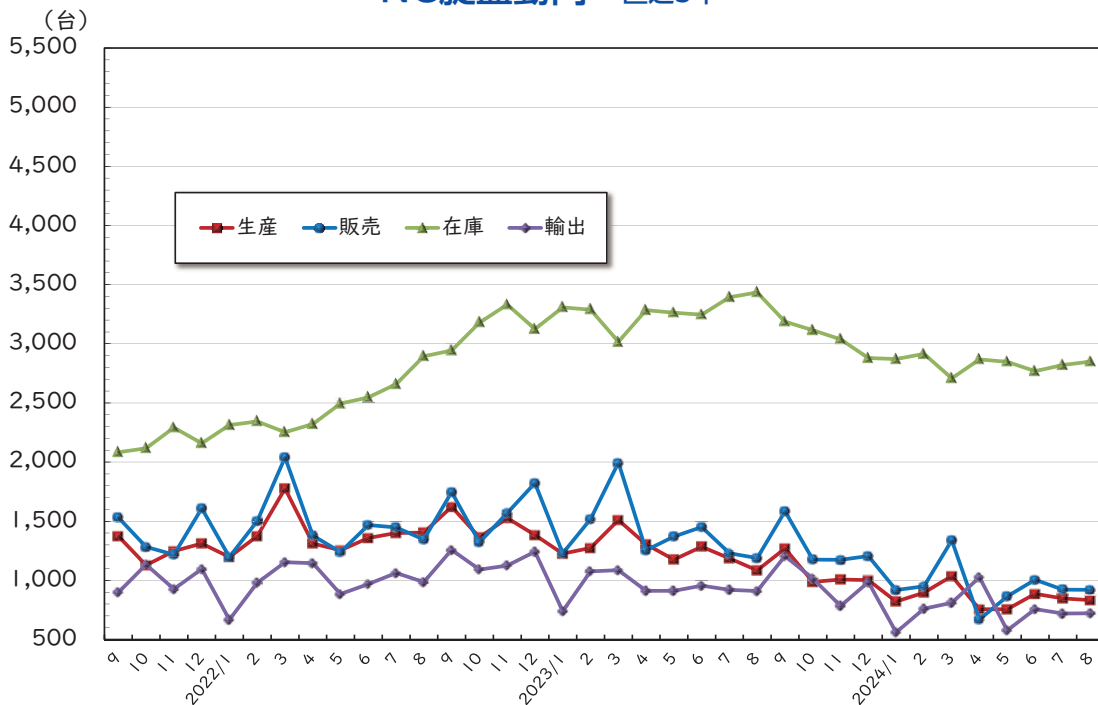
注:調査データは日工販ホームページをご覧ください。

見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

マシニングセンタ動向 ~直近3年~



NC旋盤動向 ~直近3年~



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2024年9月)

2024年10月24日発表

(単位:百万円)

需要業種	期間	23年累計	前年出	24/04-24/06 累計	24/07-24/09 累計	前期比	前年同期比	24/01-24/09 累計	前年同期比	09月分	前月比	前年同月比
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	16,345	83.1	3,905	3,265	83.6	71.2	10,918	80.5	1,427	147.9	76.9
	2. 金属製	36,813	72.8	7,624	10,721	140.6	108.1	27,789	93.2	5,443	246.3	129.0
	3. 一般機械 (うち金型)	203,557	83.6	43,656	46,676	106.9	94.3	136,324	83.9	16,406	111	92.9
	4. 自動車 (うち自動車部品)	28,189	81.8	4,045	3,358	83	55.8	12,724	55.1	1,334	138.4	50.0
	5. 電気機械	100,588	74.7	25,805	20,978	81.3	78.6	69,991	94.0	7,439	103.8	72.3
	6. 精密機械	73,519	79.1	17,447	14,600	83.7	73.9	49,145	90.2	5,407	106.1	72.7
	7. 航空機・通船・運送用機械 (うち航空機)	36,272	63.7	6,060	8,853	146.1	87.6	24,495	79.9	3,711	233.8	87.8
	8. その他製造業	21,430	72.6	6,681	4,937	73.9	114.4	17,124	109.5	2,248	219.1	150.1
	9. 官公需・学校	57,702	66.7	12,741	13,790	108.2	95.6	41,619	89.9	5,959	228.1	104.1
	10. その他需要部門	20,172	107.0	7,447	5,364	72	131.9	17,785	125.8	2,073	108.2	123.6
	11. 商社・代理店	8,509	146.9	4,368	2,399	54.9	156.3	9,077	154.4	1,024	145.0	114.3
	12. 外需	382,019	79.0	89,649	86,808	96.8	91.7	265,719	89.3	31,877	120.4	90.2
13. 1~12. 受注累計	22,867	87.1	4,756	4,234	89	71.3	14,060	81.5	1,345	122.7	71.1	
14. 1~12. 受注累計	1,977	89.7	576	1,119	194.3	139.7	2,114	146.7	260	53.7	181.8	
15. 1~12. 受注累計	12,165	86.3	3,376	2,591	76.7	95.2	9,179	97.5	955	137.6	87.6	
16. 1~12. 受注累計	4,635	67.2	2,133	686	32.2	45.3	4,067	123.1	222	82.8	43.8	
17. 1~12. 受注累計	476,821	79.0	112,019	109,424	97.7	91.1	333,846	89.7	41,529	129	92.2	
18. 1~12. 受注累計	1,009,698	87.3	267,229	250,648	93.8	103.2	766,292	100.9	83,831	106.7	94.3	
19. 1~12. 受注累計	1,486,519	84.5	379,248	360,072	94.9	99.2	1,100,138	97.2	125,360	113.2	93.6	
20. 1~12. 受注累計	1,463,024	84.7	372,199	354,947	95.4	99.8	1,082,837	97.3	123,444	112.7	93.8	
21. 販売額	1,616,581	103.1	329,117	399,490	121.4	102.9	1,118,197	92.3	158,177	127.6	101.3	
22. 受注残高	1,591,253	103	324,633	393,475	121.2	103.1	1,100,336	92.3	155,087	126.7	101.4	
23. 受注残高	785,775	87.6	807,134	767,716	95.1	94.0	767,716	94.0	767,716	95.9	94.0	
24. 受注残高	760,531	87.5	781,560	743,032	95.1	94.0	743,032	94.0	743,032	95.9	94.0	

出所 (一社)日本工作機械工業会



議事録

第312回定例理事会議事録

日 時：2024年9月4日（水）14:30～16:40
場 所：アットビジネスセンター大阪梅田 701 号室（Web 併用）
出席者：会長、副会長 3 名、専務理事、理事 19 名、監事 3 名

会長挨拶の後、審議に入った。

【付議事項】

なし

【報告事項】

(1) 売上高調査：

専務理事より説明。二年毎の実施で本来は昨年度調査の予定だったが、職員の突然の休職等もあり本年度に調査を順延した。調査結果後の会費改編については本年度 10 月から適用の 6 か月分となる。

(2) JIMTOF 出展について：

専務理事より説明。若干、前回のレイアウト図と変更があり、ストック部分の形が変わる（面積は不変）。

(3) HP 改定の状況

専務理事より、資料に基づき説明。10 月 1 日変更で進めている。

(4) 西部地区懇親ゴルフ会（7/17）：

西部地区委員長から報告。センチュリー三木 GC 開催。18 社 20 名が参加。

(5) 東部地区若手研修会（8/28）：

東部地区委員長から報告。期初の東部地区委員会で若手のやる気を喚起する意味で、若手研修会を企画開催することになった。場所は JR 田町駅直結のアリスアクアガーデン。参加社数は 20 社。研修会受講者が 48 名（講師・日工販関係者いれると 57 名）。懇親会 49 名（同 59 名）。盛大な開催となった。

講演内容は㈱牧野フライス製作所から「インド 2024」と題して、インドの現況等若手が興味を持つような話をして頂いた。販売主体が、㈱牧野フライス製作所では日本製・シンガポール製・インド製のそれぞれを同じくらいの台数を販売している。自社で 30 名の設計部隊をもち、ターンキービジネスとして横型 M/C を販売している。

2 社目は㈱ソディック「3D プリンターの現状と活用事例」の講演。3D プリンターは初登場後しばらく経過しているが、現状の金属 3D プリンターについて、今までの加工形態を 3D プリンターに置き換えるという話が多い中、「これには 3D プリンターが向くのではないか」という発想で取り組むことが大事という話だった。その後懇親会を開催。今後も若手中心の行事を企画予定。

(6) SE 講座申込み状況報告：

専務理事より説明。予算 110 名に対して 147 名と過去 2 番目の参加者数。正会員は中部が若干多いがほぼほぼ同数の申込み。毎回非会員も参加している。座学をビデオで受講するか、集合研修でやるかの比率はビデオ 2 に対して集合 1 の割合。

池浦教育委員長より「教育の仕組みがあることは非常に好ましい。税制面でも減税につながる。従業員にとっては、会社が教育に力を入れるか否かで評価にも差が出る。内容も他に引けを取らない SE 教育である。来年以降の社員教育をどうしていくか、またベテランの再教育をどうしていくか、教育面で各社のお考えを頂けるとありがたい。」

(7) 流通動態調査 2024 年 7 月：

日工会の内需と日工販の数字のグラフでは、近似曲線では右肩下がりの傾向がよくわかる。景況感は全体に悪くはない。製品別では FA システムが好調。業界別では自動車はまだら模様。半導体は良くなると見ている。航空機は良くなっていない。海外ではインドが好調。中国も良くなっている。

(8) リース事業協会からの資料：

リースに関して現在法制度がなく法務省が法制化を考えている。法制化されればリース会社としては与信を厳しくせざるを得ず、客先は貸借対照表に載せたり、金利部分しか経費算入できないなど、使い勝手が非常に悪くなるとの説明。日経にリースに関する資産・負債を原則すべて貸借対照表に記載するような法制化が 27 年度から実施されるとの記事があったことから法制化は必至との意見あり。リース事業協会に見解照会中。

製品研修会

2024 年 11 月 5 日（火）から開催される JIMTOF2024 を前に、各地区において出品製品を中心に一部メーカー様より事前説明がありました。コロナ禍における制約が排除された後の JIMTOF となるだけに、各地区とも大勢の参加となりました。

《東部地区》

日時：2024 年 10 月 1 日（火）10:00 ~ 17:50

（説明メーカー 5 社）

2024 年 10 月 2 日（水）10:00 ~ 16:10

（説明メーカー 8 社）

会場：専売ビル 8F ホール

参加者数：1 日目）21 社 61 名、2 日目）21 社 63 名



《中部地区》

日時 : 2024年10月8日(火) 9:00 ~ 16:00 (説明メーカー7社)

会場 : 名古屋市工業研究所 第一会議室

参加者数 : 23社 100名

説明内容 : 展示会場の場所・ブース内配置の紹介、出展機の特徴、アピールポイント

昨今の人手不足、電気代の高騰などをうけ、省人化・自動化・工程集約・省電力などをキーワードに、AIを活用した診断も取り上げられていた。

《西部地区》

日時 : 2024年10月10日(木) 9:40 ~ 17:00
(説明メーカー7社)

会場 : 大阪産業創造会館 5F 研修室 A・B

参加者数 : 16社 64名



東部地区 若手研修会

日時 : 2024年8月28日(水)

①講演会 : 14:00 ~ 16:30 (受付 13:30 ~)

②懇親会 : 17:00 ~ 18:30

場所 : 「アリスアクアガーデン 田町店」

若手のやる気を喚起するという意味で、若手研修会を企画開催いたしました。場所は JR 田町駅直結のアリスアクアガーデン。参加は 20社、研修会受講者 48名 (講師・日工販関係者を含め 57名)。懇親会 49名 (同 59名)。

講演内容は、(株)牧野フライス製作所から「インド 2024」と題して、インドの現況等若手が興味を持つような話をして頂きました。

2社目は(株)ソディックから「3D プリンターの現状と活用事例」の講演をして頂きました。

懇親会も含めて盛大に開催することができました。



豊田直樹委員長挨拶
(株)兼松 KGK

講演① : 「インド 2024」

講師 : 牧野フライス製作所 (株) アジア営業部 インド担当 中須磨 祥吾氏

販売主体が、(株)牧野フライス製作所では日本製・シンガポール製・インド製をそれぞれほぼ同じ台数販売。自社で 30 名の設計部隊をもち、ターンキービジネスとして横型 M/C を販売。



講演②：「金属 3D プリンターの現状と活用事例」

講師：(株) ソディック 工作機械事業本部 機械事業部 機械営業統括部
MC・AM 営業部 部長 宮下 健一朗氏



3D プリンターは初登場後しばらく経過しているが、現状の金属 3D プリンターについて、今までの加工を 3D プリンターに置き換えるという話が多いが、3D プリンターで加工するワークは新しいもの、即ちこれには 3D プリンターが向くのではないかという発想で取り組んでいただくことが大事。

講演後の懇親会では普段の懇親会とは違った雰囲気があり、若手の方々に元気をもらえるような会となりました。若手の皆さんから盛り上げてもらえるような、若手中心の行事を今後も企画していきたいと思っています。



林副委員長乾杯挨拶
(三菱商事テクノス(株))



乾杯!

西部地区 懇親ゴルフ会

日 時：2024年7月17日(水)
場 所：センチュリー三木ゴルフ倶楽部
参加者数：18社20名

天候は晴れ。夏の厳しい暑さにも負けず、18ホールを回り切りました。西部地区から18社20名の会員の方々が参加され、懇親を深めました。優勝は、宮脇機械プラント(株)代表取締役社長 岡本 淳様で、続く2位・3位は以下のとおりとなりました。

順位	競技者(敬称略)	ご所属	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	岡本 淳	宮脇機械プラント(株)	51	46	97	27.0	70.0
準優勝	野村 昌司	(株)岡本工作機械製作所	51	47	98	28.0	70.0
3位	佐野 真一	三菱HCキャピタル(株)	52	48	100	28.0	72.0

西部地区 研修会

日 時：2024年9月12日（木）14：00～15：30
場 所：大阪産業創造館 5階 研修室

工作機械業界にとって要となる自動車産業の今後を見据えたタイムリーな内容を、自動車業界のプロフェッショナルによりご講話いただきました。

参加者一同、高い関心をもって聞き入っていました。以下にご講演の概略を記載いたします。

【講演会】

演 題：電動化に向かう自動車産業の現状

講 師：松島 正秀氏（一般社団法人日本自動車部品工業会 技術担当顧問）

出席者：20社45名

【ご講演概略】

現在、世界の自動車業界に於いては、第26回国連気候変動枠組み条約締結国連会議を経てCO₂削減に向けた【100年に1度の大変革期】を迎えており自動車駆動の電動化に取り組んでいる。

米では、2030年までに国内で販売する新車の50%以上電動化の政策を推進しており、EUでは、2035年までにガソリン・ディーゼルを使用する新車（PHEV・HEV）販売が禁止される。ただし環境によい【合成燃料使用車】の販売は認めている。中国では、2035年までにNEV車の販売割合50%以上を目標とし、その内EV車割合を95%以上に設定している。現在、EV普及率ではEU諸国が上位ですが、EV自動車市場に於いては、中国が世界をリードしており販売台数・総台数ともトップ。現在、テスラとBYDの2社がEV車販売を先行しており、両社ともバッテリー・充電設備のグローバル展開もおこなっており、2024年からGM・FORDが北米約2万カ所のテスラ充電施設にネクタ利用で合意した。BYDもEV車販売だけでなく、バッテリー・急速充電設備のグローバル展開にも力を入れておりEV車の充電規格統一にも目が離せない状況。この2社はグローバルな販売価格戦略も打ち出して来ており、他メーカーは、EV化技術



構築とマーケット対応の2面で早急な対応策が必要とされている。各自動車メーカーでは、EV化を達成するにあたり新たな技術が必要になって来ている。

【①走行距離の延長・②充電インフラ拡大・③充電時間の短縮・④販売価格】の課題をクリアして行かなければならない。①走行距離の延長に対しては、車体の軽量化・空気抵抗の低減があり、軽量化の具体的な取り組みは構成部品を重い鋼鉄製から軽量化が期待出来るアルミ合金や合成樹脂に置き換える検討が加速している。更に軽量化に向けた部品技術では、パワートレインモジュールも変化が大きく、EV化でトランスミッションが大幅に小型化される。モーター・インバーター・ミッションをパッケージ化した【eAxle】に置き換わる。

【eAxle】では、インバーターに使用する半導体を、従来のシリコンから動作上限温度が高く、耐圧性に優れ大電流を扱えるSICパワー半導体が注目されている。欧米では、EVの電池電圧を現状の2倍となる800Vまで高める取り組みが加速している。世界の自動車メーカーのEV化に対して、出遅れた国内自動車メーカーでも様々な取り組みを加速させており、メーカー同士の業務提携や技術供与、また部品調達面に於いても、これまでのサプライヤーとの関係だけではなく電機メーカーや電子部品メーカーとの関係性も拡大して来ている。

現状、日本でのEV化が進まない課題としては、やはり充電インフラが整備されていない事と充電時間がかかる事を早急に整備して行かなければ、政府が掲げる2035年新車販売の100%EV化は達成出来ない。

日本・世界の自動車業界のEV化の加速に対して、様々な観点から目が離せない状況が続いて行く。

自動車業界のもう一つのテーマの自動運転技術は現在、米国と中国が突出して先行している。日本では2027年に完全自動運転が可能な【レベル5】の公道での実証実験が計画されている。日本ではEV化よりも早く自動運転技術の確立が進んで行くと考えられている。

さらに今後自動車は、駆動系の改革・自動運転による安全性の改革に【SDV Software-Defined Vehicle】技術を活用し、機能追加・性能改善をおこなって行く快適移動手段としての存在に変革して行く。

世界の自動車業界は、地球環境に良い【100年に1度の大変革】を是非、達成して欲しい。



■ 編集後記

秋刀魚は、秋の訪れと共に水揚げされる魚のひとつであり、日本では秋の味覚として親しまれています。身がふっくらとしていて脂がのっており、旨味が豊かなことから、好きな方も多いと思います。

秋刀魚は、脂がのっていることから焼いたり煮つけにしたりすると、香り高く美味しい料理になります。特に秋刀魚の塩焼きは、皮がパリッと焼けて身がジューシーであり、一口食べるだけで秋の味覚を堪能できる絶品料理です。

また、秋刀魚は栄養価が高く、EPA や DHA などの不飽和脂肪酸が豊富に含まれています。これらの栄養素は、脳や血管の健康を保つために重要であり、秋刀魚を食べることで健康をサポートすることが出来ると言われてています。

さらに、秋刀魚は身近な食材であり、簡単に調理することができるため、忙しい現代人には重宝されています。身近なスーパーでも手に入りやすく、手軽に調理できるため、日常の食卓に取り入れやすい食材と言えるでしょう。

近年は、不漁によって高級食材となりつつありますが、秋の訪れを感じる季節には、ぜひ秋刀魚を味わってみてはいかがでしょうか？
〔伊藤〕

今年の4月より長男が社会人となり生まれ育った家を出て一人暮らしを始めました。

本人は新社会人として期待と不安が入り混じるスタートだと思いますが、親としては漸く一人育てあげた安堵感と一人分少ない洗濯物や食事に戸惑いながらもお互いが日々の暮らしの変化に慣れてきて新しい生活を過ごし始めました。

来年の4月には長女も社会人となり最初の半年は研修で一人暮らしが予定されており実家を離れるので4月以降は夫婦だけの生活が始まりますが、27年ぶりの二人での生活にワクワクしており夫婦で旅行、山登り、近所の畑とイベント目押しの生活となりますが健康第一で笑顔が絶えない関係で過ごせて行けたらと思う今日この頃です。〔金子〕



お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail : jmta@nikkohan.or.jp

日工販NEWS November 2024

2024年11月発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 中島 和彦

編集 日工販調査広報委員会
委員長 久富 常之 (丸紅テクノシステム株式会社)
委員 君村 義人 (伊藤忠マシンテクノス株式会社)
中村 龍二 (株式会社トミタ)
金子 智彦 (三菱商事テクノス株式会社)
長友林太郎 (株式会社牧野フライス製作所)
伊藤 真 (三井住友ファイナンス&リース株式会社)

制作・印刷 株式会社昌文社
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30
電話 03-3452-4931 <http://www.sho-shiba.com>

正会員 (全82社)

東部地区 (37社)

(株) 旭 商 工 社
 アルビテクノロジー(株)
 伊藤忠マシテクノス(株)
 イワイ機械(株)
 (株) ウインテック
 大石機械(株)
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共 和 工 機
 (株) 群 馬 工 機
 (株) 小 林 機 械
 (株) 佐 藤 商 事
 (株) 三 機 商 会
 三 洋 マ シ ン
 サ ン ワ 産 業
 シ マ モ ト 技 研
 住 友 商 事 マ シ ネ ッ ク ス
 (株) セイロジャパン
 誠 和 エ ン ジ ニ ア リ ン グ
 双 日 マ シ ナ リ ー
 ツ ー ル ド イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル
 帝 通 エ ン ジ ニ ヤ リ ン グ
 (株) テ ヅ カ タ
 (株) ト ミ タ
 (株) 豊 通 マ シ ナ リ ー
 N a I T O
 日 鋼 Y P K 商 事
 (株) 日 清 機 工
 丸 紅 テ ク ノ シ ス テ ム
 三 井 物 産 マ シ ン テ ッ ク
 三 菱 商 事 テ ク ノ ス
 (株) ヤ マ モ リ
 ユ ア サ 商 事
 米 沢 工 機

中部地区 (23社)

石 原 商 事 (株)
 (株) 井 高
 岡 谷 機 販 (株)
 力 ト 一 機 械 (株)
 釜 屋 商 事 (株)
 岐 阜 機 械 商 事 (株)
 甲 信 商 事 (株)
 三 栄 商 事 (株)
 (株) 三 機
 サ ン コ 一 商 事 (株)
 三 立 興 産 (株)
 三 下 野 機 械 (株)
 (株) 大 大 成
 (株) 大 大 誠
 (株) 大 和 商 会

(株) 東 陽
 (株) 日 本 精 機 商 会
 浜 松 貿 易 (株)
 (株) 不 二
 三 菱 電 機 メ カ ト ロ ニ ュ ス テ ク ノ ロ ジ ー ス (株)
 山 下 機 械 (株)
 (株) U - M A C H I N E
 ワ シ ノ 商 事 (株)

西部地区 (22社)

赤 澤 機 械 (株)
 伊 吹 産 業 (株)
 植 田 機 械 (株)
 O T フ ァ テ ッ ク (株)
 関 西 機 械 (株)
 合 田 華 産 業 (株)
 五 誠 機 械 産 業 (株)
 桜 井 機 械 (株)
 (株) ジ ー ネ ッ ト
 (株) ダ イ イ チ テ ク ノ
 大 幸 産 業 (株)
 (株) 立 花 エ レ テ ッ ク
 (株) タ ナ 力 善
 西 川 産 業 (株)
 日 工 機 材 (株)
 (株) ニ ッ ツ マ シ ナ リ ー
 日 本 産 商 (株)
 (株) マ ッ ク マ シ ン ツ ー ル
 (株) マ ル 力
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)
 (株) 山 善

賛助会員 (全75社)

製造業 (68社)

アイダエンジニアリング(株)
 (株) ア マ ダ マ シ ナ リ ー
 育 良 精 機 (株)
 エヌティール(株)
 (株) MSTコーポレーション
 (同) L N S ジ ャ パ ン
 エ ン シ ュ ウ (株)
 オ ー エ ス ジ ー (株)
 (株) オ ー エ ム 製 作 所
 オ ー ク マ (株)
 (株) 岡 本 工 作 機 械 製 作 所
 (株) 神 崎 高 級 工 機 製 作 所
 (株) 北 川 鉄 工 所
 (株) キ タ ム ラ 機 械
 (株) 北 村 製 作 所
 (株) キ ャ ド マ ッ ク
 (株) キ ャ ム タ ス
 黒 田 精 工 (株)
 三 愛 エ コ シ ス テ ム (株)
 サ ン ド ビ ッ ク (株)
 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社

(株) C & G シ ス テ ム ズ
 (株) ジ ェ イ テ ク ト
 (株) シ ギ ヤ 精 機 製 作 所
 シ チ ズ ン マ シ ナ リ ー (株)
 芝 浦 機 械 (株)
 新 日 本 工 機 (株)
 住 友 電 気 工 業 (株)
 (株) ソ デ ィ ッ ク
 大 日 金 属 工 業 (株)
 (株) 太 陽 工 機
 高 松 機 械 工 業 (株)
 (株) T A K I S A W A
 (株) ツ ガ ミ
 津 田 駒 工 業 (株)
 D M G 森 精 機 (株)
 (株) 東 京 精 機 工 作 所
 (株) 東 京 精 密
 (株) 東 洋 精 機 工 業
 (株) ナ ガ セ イ ン テ グ レ ッ ク ス
 中 村 留 精 密 工 業 (株)
 (株) 西 田 機 械 工 作 所
 (株) 日 研 工 作 所
 (株) 日 進 製 作 所
 ニ デ ッ ク オ ー ケ ー ケ ー (株)
 ニ デ ッ ク マ シ ン ツ ー ル (株)
 ハ イ デ ン ハ イ ン (株)
 (株) 長 谷 川 機 械 製 作 所
 (株) 初 田 製 作 所
 浜 井 産 業 (株)
 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
 B I G D A I S H O W A (株)
 フ ァ ナ ッ ク (株)
 (株) F U J I
 二 村 機 器 (株)
 ブ ラ ザ ー 工 業 (株)
 豊 和 工 業 (株)
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)
 (株) 牧 野 フ ラ イ ス 製 作 所
 (株) 松 浦 機 械 製 作 所
 三 井 精 機 工 業 (株)
 (株) ミ ツ ト ヨ
 三 菱 電 機 (株)
 三 菱 マ テ リ ア ル (株)
 (株) M O L D I N O
 安 田 工 業 (株)
 ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク (株)
 吉 川 鐵 工 (株)

リース業 (7社)

共 友 リ ー ス (株)
 J A 三 井 リ ー ス (株)
 十 六 リ ー ス (株)
 三 井 住 友 ト ラ ス ト ・ パ ナ ソ ニ ッ ク フ ァ イ ナ ン ス (株)
 三 井 住 友 フ ァ イ ナ ン ス & リ ー ス (株)
 三 菱 H C キ ャ ピ タ ル (株)
 三 菱 電 機 フ ァ イ ナ ン シ ャ ル ソ リ ュ ー シ ョ ンズ (株)



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>